

2015年11月17日

APNIC40 参加報告書

GMO インターネット株式会社

システムセキュリティサポートチーム

筒井瞬

【1】 参加したセッション名

- **Global Reports**
- **AMM**
- **Woman in ICT**
- **SIG Session**
 - Policy SIG
 - NIR SIG
 - Cooperation SIG
- **Technical Session**
 - Mobility Nexus:Are We Ready for Real Mobile / Wireless Broadband?
 - DNS Variant Management BOF
 - Network Function Virtualization(NFV))
- **Lightning Talk**
 - Actions against DNS Security issues which JP faced
 - Measuring latency from the browser
 - OnionCity:Darkweb conduit and search engine
 - Yeti DNS Project
 - HKIX IPv4 Address Renumbering /23 to /21
 - IP Transfers Lessons Learned

【2】 【1】のうち特に印象に残ったセッション

■SIG Session

-NIR SIG

[経緯]

丁度、去年アジアをぐるっと1週周る一人旅をしていたのですが、その時に沢山のIT関連の人とお会いしました。また行ったことのある国ばかりで、その国のインターネット事情というのは体験を以って感じた部分があります。ですのでその国のNIRのお話というのは大変興味があり、こちらのセッションを選択しました。

特に気になった国として、2つ。韓国と台湾を挙げます。

-韓国

韓国のようなITインフラが整った国でさえ、Whois情報に誤りが多いという点、RPKIが未実装な点。

-台湾

そして台湾の帯域登録システムです。実際に使ってみたのですが、かなり詳細に組織の情報が記載されており、国がここまで管理するのか、という驚きと国民への信頼があるのだな、という印象を受けました。

普段はどうしても最新技術としてアメリカを中心としたニュースを見ることが多いのですが、こうした近隣諸国の情勢から日本の技術を新しく知ることが出来るということを再確認しました。お国の最先端事情は大変興味深い内容でした。

■Lightning Talk

-OnionCity:Darkweb conduit and search engine

[経緯]

元々、セキュリティに関する部署に配属されており、セキュリティ関連のセッションは興味を持っていました。Torを使わずにこんなに簡単に.onionのサイトを見れるソフトがあることを知らず、とても驚きました。また、ネット社会の変革の一端を見たようで、とてもワクワクしたので、こちらのセッションを選択しました。

[実際に使ってみて]

こちら実際に使ってみたのですが、Torを使って見るようなサイトは見れないことも多く、率直にまだ途上だという印象を受けました。ですがOnion.city上で見れるサイトも増えてきているようで、Darkwebが多くの人に広がることはいいことだと感じています。今後も是非、動向を追って行きたいプロジェクトです。

【3】 今回の経験を今後どう生かしていきたいか

1.現在の業務への意識向上

現在、自社のグループ業務としてレジストラ業務や IP アドレスの購入などを行っているが、APNIC40 に参加したことで、ポリシー採決のフローや関わる人の熱意を知ることができた。今後それらを意識して業務に取り組むことで、モチベーションの向上と大きな流れを意識し、業務に取り組んでいこうという思いが強くなった。

2.「今の自分にできること」を考え直すキッカケを得た

他国のフェローと接し、技術に関する話をして、技術力は全く劣ってないと感じた。ただ自発性や語学力であったり、学ぶ点も多く、同世代との交流は大きな刺激となった。ワーキングホリデー, 学士留学, 海外就職など、今まで以上に焦燥感を感じるようになった。

3.人脈を活かした今後の選択肢の広がり

沢山の国際的な企業の方、APNIC 関係者、各国のフェローメイトと交流を持つことができ、現在も連絡を取り合えるような仲を形成することができた。今後はこれらの繋がりを無駄にすることなく、将来、自分がなすべきこと、やりたいことを幅広く選択していきたいと考えています。

【4】 参加支援プログラムに対する所感

■ 支援について感じたこと

私は一人での海外渡航経験があるので、大きな不安や問題はありませんでした。ですが、語学に問題があったり、渡航経験がない方だと集合場所に行くまでの経路から、カンファレンス中や、終了後の自由時間まで不安は尽きないかと思います。そのため、日本語の通訳さんがもしも居たらより不安は軽減されると感じました。

また想像以上に予備知識が必要なセッションが多く、加えて第二言語ということもあり、もっと事前に深く勉強をしていく必要があったととても後悔しています。ですので、もしも事前に勉強すべきネット教材の類、あるいは Web サイトなど、たとえば問題形式などで出している程度、最低限の知識レベルを統一した方が理解も深まると感じました。

■ 次回参加される方へのアドバイス

上記の感じたことを考慮すると私が考える最低限必要なスキルとして下記の3点

- ・ 語学力(セッションを聴き、理解することのできるリスニング力、また聴けないとしても字幕を理解できる読解力)
- ・ コミュニケーション力(会場には各国の沢山の人が居るので、積極的に話そうとする意思。繋がりを作る意義の大きさ)
- ・ 技術力(セッションは予め Web に UP されるので、自分の業務、学習範囲でなくても予備知識を最低限復習すること)

また、当然ですが APNIC が開催するカンファレンスですので、APNIC についての知識は当然のこと、今、議論されている話題や問題について、公式 HP にある過去ログを見るとよりカンファレンスを楽しめると思います。

■ 総括

総括的に沢山のの人に紹介して頂いたり、初日の食事会などを通じて、様々な経験を積ませて頂き、かつ費用も負担して頂いたので本当に感謝しか御座いません。ありがとうございました。

以上